



## 産業技術大学院大学 「PBLプロジェクト成果 発表会 2008」 を開催します！

産業技術大学院大学は、専門職大学院として、情報アーキテクトという高度専門知識を駆使するスーパープレイヤーの育成を目指して、業務遂行能力の習得に重点を置いた実務実践的な教育を行っております。

PBL(Project Based Learning)はその中核をなす教育手法であり、このたび、教育の成果を広く公表する新しい試みとして「PBL プロジェクト成果発表会2008」を以下のとおり開催します。

当日は、本学産業技術研究科情報アーキテクチャ専攻2年次生が、1年間かけて、各プロジェクトで取り組んできたテーマの成果を発表します。

### ■ 開催日時

平成20年2月24日(日) 10時00分～17時15分

### ■ 会場

秋葉原コンベンションホール(秋葉原ダイビル2F)

<東京都千代田区外神田1-18-13>

### ■ 参加費

無料

### ■ 申込み

事前予約不要

### ■ 発表テーマ

「ソフトウェア・アーキテクチャと開発プロセス」、「産技大PBL教育におけるe-Learningシステム開発プロジェクト」、「概念データモデリングによる情報システム設計」、「産業技術大学院大学における情報セキュリティポリシーの策定プロジェクト」など

### 【問い合わせ先】

産業技術大学院大学 管理部管理課

電話 03-3472-7834

産業技術大学院大学の教育目標は仕事の現場で要求される知識を使いこなす知恵(Skill)と知恵を活かす人間力(Competency)の高度化であり、真のプロフェッショナルプレイヤーの育成です。

知識は本を読んだりする静的な方法でも学習可能ですが、知恵を使いこなす知恵は知識を使う動的な現場が無ければ習得できませんし、知恵を活かす人間力は仕事に関わる様々な人たちとの交わりの中でのみ鍛えられ高度化されるものです。

したがって、本学の教育目標を達成するためには複数の学習者が協力して一つの仕事を完成させる場(Project)が必要であり、個々の学生は設定されたProjectという舞台の上で、明確な目標を掲げてSkillとCompetencyを鍛える訓練をしていくことが必要となります。

このとき、教員や外部の関係者の役割は舞台回しをする演出家であり、演技指導者であります。これが、本学がPBL(Project Based Learning)を最も重要な教育的な学習プロセスと位置づける理由であり、具体的な指導法や評価法を教員一丸となって検討し開発してきた所以です。

PBL発表会は本学が提唱する新しい教育システムの成果を一般の観客に披露する輝かしい瞬間です。1年間を通して名塵となるべく努力を重ねた学生たちのProjectは結果として素晴らしい作品へと仕上げられているものと思えます。

幸運にも観客からの拍手が得られれば、学生にとっては、プロフェッショナルプレイヤーとしての成長が立証された証であり、舞台監督としての指揮者の先生方の努力が報われる瞬間であります。

PBL発表会にご参加いただく方々には、本学学生と教員を始めとしてProjectの指導に関わった全ての関係者の努力の結晶であるProject成果を客観的に評価いただき、率直にご褒賞、ご助言、そして願わくば、拍手をいただけるようお願いいたします。良き観客のみが良き演技者を育てます。

学生諸君！さあ、舞台のカーテンが下がります。

## 「PBLプロジェクト成果発表会」 2008年2月24日(日)

会場 秋葉原コンベンションホール(秋葉原ダイビル2F)

開場時間 9:30

開催時間 10:00~17:15

参加費 無料

アクセス



JR線 秋葉原駅(電北出口)徒歩1分  
東武メトロ日比谷線 秋葉原駅(2・3番出口)徒歩4分  
東武メトロ有楽町線 末広町駅(1・3番出口)徒歩3分  
つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩3分

お問い合わせ先



産業技術大学院大学  
ADVANCED INSTITUTE OF AkihabARA TECHNOLOGY

管理部管理課 教務企画係

〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40

TEL 03-3472-7684 FAX 03-3472-2790

<http://aitac.jp/> [Info@aitac.jp](mailto:Info@aitac.jp)

産業技術大学院大学学長

石島辰太郎

産業技術大学院大学

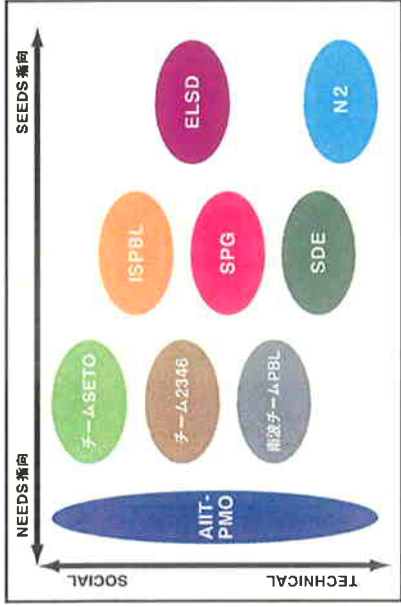
P B L

プロジェクト成果

発表会 2008



プロジェクトの位置づけ

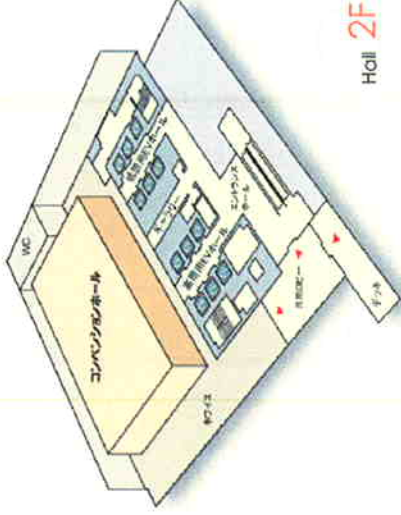


プログラム

※プログラムは変更になる場合がございます

会場	コンベンションホール	ホワイエ
9:30		パネル説明・デモンストレーション
10:00	学長挨拶 PBL 委員会より	
10:30	成果発表 (各チーム30分) ■SDE ■SPG ■ISPBL	パネル展示
12:00	昼休み	
13:00	成果発表 (各チーム30分) ■N2 ■ELSD ■AIIT-PMO	パネル展示
14:30	休憩	パネル説明・デモンストレーション
15:00	成果発表 (各チーム30分) ■チーム2346 ■南波チームPBL ■チームASET0	パネル展示
16:30	講評 研究科長挨拶	
16:45		パネル説明・デモンストレーション
17:15		

会場案内



プロジェクト紹介 (チーム名、担当教員、タイトル、発表内容概要)

※発表時間は変更になる場合がございます

発表時間 (10:30-12:00)

**SDE** 秋口忠三

**教育用ソフトウェア開発プロセス支援システムSPEEDの開発**

ソフトウェア開発の現場では、ソフトウェアの生産性と品質向上が叫ばれています。本プロジェクトでは、「ソフトウェア開発経験の少ない学生等がソフトウェア開発プロセスの重要なエッセンスを効率的に学ぶ」ことを支援するツールSPEED (Software Process Engineering Exercise Director) を開発しました。今回の発表ではSPEEDの開発背景、効果、機能、アーキテクチャ等についてデモンストレーションを交えて説明します。

発表時間 (13:00-14:30)

**N2** 加藤由花

**研究型プロジェクトによる次世代ネットワークアーキテクチャの設計**

本プロジェクトは、ネットワーク研究の動向、市場のニーズ等を調査し、それらに新しいネットワークサービスを提供する研究型のプロジェクトです。具体的なテーマとしては「意外性のあるサービスの提供」を目標に、モバイルネットワークネットワークを利用した音楽共有システム JAMS (JAMais vu System) の提案を行いました。発表では、デモを通して私たちが提案する次世代のネットワークサービスを体感していただきたいと思っております。

発表時間 (15:00-16:30)

**チーム2346** 戸沢義夫

**東京都港湾局の業務改革提案**

当PBLチームは東京都港湾局へ業務改革の提案を行いました。このなかでは方法論のつとより、東京都港湾局の業務内容の調査、職員の方へのインタビュー分析、課題特定、課題解決に向けた改善ポイントの特定、さらにこの改革を実現していくためのプロジェクト化定着といった活動を行いました。これを踏まえ、業務改革提案を行うプロセスとその結果をご紹介します。

SPG

**小林政秀**

**ソフトウェア・アーキテクチャと開発プロセス**

現実世界の問題を解決するソフトウェア・アーキテクチャの育成を目標とする当PBLプロジェクトでは、大学の演習の様なチーム作業を支援するツール Simple Project Management Groupware (SPG) の開発を通じて、アーキテクチャの策定、オブジェクト指向ソフトウェア開発、Rational Unified Process (RUP) 開発プロセスの習得を目指しました。そこで得られた成果をご紹介します。

ELSD

**村嶋英樹**

**産大PBL教育におけるe-Learningシステム開発プロジェクト**

本プロジェクトでは本学の教育形態に特化したe-Learningシステムの設計を行いました。設計方針は、PBL型教育支援のために協同学習理論を元にし、学生・教員を対象とした現行システムのアンケート結果としてコミュニケーション支援機能の要望を加味する形をとりました。以上をうけて、OSSのコース管理システムであるMoodleを原型として、Web会議システム、ファイル共有モジュール、会議室予約モジュール等の実装を行いました。

南波チームPBL

**南波幸道**

**概念データモデリングによる情報システム設計**

我々は、情報システム構築における上流設計を案理から習得するために、東京都港湾局の港湾業務を題材に、港湾関係者のレビューを踏まえながら概念データモデリングを用い現状分析、モデル化を行ってきました。これらの活動の過程および、その結果得られたものについて発表します。

ISPBL

**成田晋彦**

**インターネットサービスにおけるコミュニケーションインフラの企画**

我々は、インターネットのWeb2.0技術を活用したデータ駆動型サービスインフラを提案します。このサービスインフラでは、メタデータを活用した「文字」「写真」「動画」等の多様な情報を一様に保存、検索、配信するサービスを提供する事が可能になります。今回、自動タグ付けや外部サービスとの連携したプロトタイプを作成しました。これらのデモンストレーションを通して、本企画の可能性をご理解頂けると幸いです。

AIIT-PMO

**酒森 淳**

**PMOの立ち上げとプロジェクトマネジメントスキル育成プログラムの実施**

当チームはPMO (Project Management Office) を立ち上げ、他のPBLプロジェクトのプロジェクトマネジメント (PM) を対象として、PMBOOK準拠の支援活動を行いました。総務省PM育成PBL教材を実施し、コーススタディを通じて、メンバのPMスキルを向上させました。成果として、AIIT-PMOの定義 (WBS) による進捗管理、構造化、情報共有、PM導入標準パッケージ (PMテンプレート集)、MS-Project 2007 を代表とするPM支援ツール評価の3点についてご説明します。

チームASET0

**瀬戸洋一**

**産大技術大学院大学における情報セキュリティポリシーの策定プロジェクト**

現在、本学の情報システムは教育研究を重視し、自由に利用できます。しかし、越えられない自由はシステム障害等の原因となり、本来の利用目的を阻害する可能性があります。私たちのPBLは本学で自由、かつ目的に適った情報環境を実現するために、組織分析、情報セキュリティ管理手法、法律その他外部環境、適用情報システムが持つリスクの調査を行い、本学の特色を取り入れた情報セキュリティポリシー案を作成しました。